



養蜂家向けのオンラインアンケートを実施しています

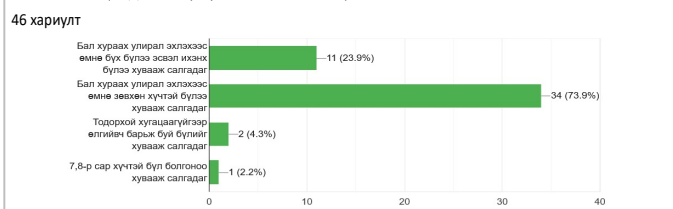
BeeDep では、モンゴルの養蜂の実態や問題点を把握するため、養蜂家へのオンラインアンケートを実施しています。現在は第4回から第10回まで、プロジェクトのFacebookページで回答を募集しています。

- | | |
|---------------|-------------|
| 第4回：夏と秋の飼育管理 | 第8回：越冬の準備 |
| 第5回：女王蜂の管理 | 第9回：越冬庫の条件 |
| 第6回：蜜源・花粉源の状況 | 第10回：春の飼育管理 |
| 第7回：蜂蜜の規格 | |

皆様からの回答は、後日集計してFacebookでご報告します。アンケートはオンラインで簡単に回答いただけますので、養蜂家の皆様には、ぜひご協力をお願いいたします。

また、第3回の養蜂家向けオンラインアンケートは、人工分蜂をテーマに回答を募集し、46名に協力いただきました。アンケートの結果は、プロジェクトからの助言とともに動画にまとめ、Facebookに掲載しています。こちらでもぜひご覧ください。

Асуулт 3-1. Та бүл салгахдаа доорх тохиолдлуудын алийг нь ашигладаг вэ? (Хэдэн ч хариулт сонгож болно).



人工分蜂をテーマにした第3回アンケートより。回答者の23.9%が「採蜜期が始まる前に、全群またはほとんどの群を分ける」と回答した。しかし、人工分蜂する時は、卵や働き蜂の数を見ながら、3週間後の蜂の状態や花の状況を予想し、蜂が急に弱くならないように気をつける必要がある。目安として、巣枠が10枚になる（2段群にできる）程度の強さになっていることが望ましい。

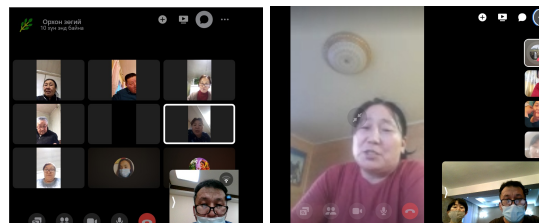
ボルガン県職業訓練学校の授業で講義しました

1月19日、ボルガン県職業訓練学校の養蜂コースにおいて、プログラムオフィサーのウーガンバヤルが、9名の学生を対象に「養蜂の基礎知識」についてオンラインで講義を行いました。BeeDepでは同校において、マニュアルを活用した養蜂指導やカリキュラム策定への助言を行っています。

養蜂家とオンラインで意見交換を実施

1月27日から1月29日にかけて、ダルハンオール県オルホンソムの養蜂家とオンラインミーティングを開催し、ミツバチの餌の条件や女王蜂の管理、越冬庫の状況などについて、養蜂家同士の意見交換を行いました。ミーティングは3グループに分けて行い、計26名の養蜂家が参加しました。今後、他の地域でも同様のオンラインミーティングを開催する予定です。

プロジェクトでは、モンゴルの養蜂振興のための手引書の作成に取り組んでいます。手引書は、オンラインアンケートの結果や養蜂家同士の意見交換を含め、各地域での活動から得られた知見を反映させて改訂を重ね、最終化していきます。



プロジェクトFacebook：

www.facebook.com/BeeDep-MONGOL-2-107843977265085/?modal=admin_todo_tour

オンラインセミナー配信中！

